

オリガミアンだより

第29号

2020年12月3日発行

クリスマスの準備

皆さんのセンスが光る作品集



11月の月間テーマはクリスマスがらみで「縦の木、サンタコース、トナカイ」としました。3点同時の練習は結構きつかったけれど、半面、楽しかったのではないのでしょうか。



南山 裕さん



熊谷 信哉さん



榎本 安重さん

ユニークな発想。サンタさんをソリではなくトナカイに騎乗させた



榎本 安重さん



荻谷 澄代さん

「わ」の本部受付前に綿を置き、それに差し込みました



藤井 良子さん

サンタのもみの木



赤鼻のトナカイ



小さなツリー（金）



上の3点は「お茶の水おりがみ会館」が発行した最新号の商品案内（2020年10月～12月）から借用しました

萩田 良一さんからお便り

ご指導ありがとうございます。「オリガミアンだより」楽しみにしています。読書をした後の気分転換にぴったり。

会員紹介、折り紙に関するエピソード、作品紹介等、構成も変化があり、毎回小さな驚きがあります。

肩の凝らないソフトな文章が多く、折り紙のアットホームな印象と釣り合いが取れていると思います。



星野 義子さん



松山 啓子さん



芹生 節子さん



吉都紀都喜子さん

「私の縄張りに入って来たのはどこのトナカイ？」(あずき)



幸田 正利さん



合田 由紀子さん



近藤 喜代子さん



モ〜まもなくボクの年がやってくる

琳派の「たらしめ技法」を
駆使した依屋宗達画 『牛図』
重文

『和楽』2016・10、11月号

『オリガミアンだより』第28号で紹介した高木 智(さとし)氏著作より

『かわいいおりがみ手紙』=写真(PHP研究所)を戴いた。二〇〇八年に第一刷が出され好評を博し、現在では第三十刷に及ばんとしている。

前書きには「だれかにメッセージをおくるとき、電話やメールなど、いろいろな方法があると思います。でも、直接伝えるのはちょっと恥ずかしいときや、おくり物にそっと添えておきたいときなどは、手紙やメモが有効です。そんなとき、一枚の紙に書くのはかんたんですが、どこかそっけない感じがしてしまいます。そこで役に立つのが『おりがみ』です。気持ちがうまく伝わるように、また、いつも同じにならないように、いろいろな折り方をしてみてはいかがでしょうか」とある。

中には、はっぴ折り、ネクタイ折り、八角折りなど三十種類以上の折り方が図入りで紹介されている。

写真左⑤は高木 智氏の第三句集「菖蒲湯」(東京四季出版)。「二日はや紙折る指に力込め」と折り紙に関するものも入っている。(高木 智氏は2011年8月死亡)